

ふたたびジャミング反対運動について

小林良夫 (JSWC-304)

さる 2 月 24 日¹の夜，ラジオ・スウェーデンの DX プログラム 10 周年記念特集を聞こうとなさった方には，いまさら申上げるまでもありますまい。

2130JST からの極東向は 15240 と 9620kc に出していましたが(現行スケジュールは Guide²2 月号参照)2 月も末ともなればコンディションは春型で，9620kc は非常に S が弱い上に 9619kc の TIDCR(コスタリカ)と 9625kc のサイゴンの混信で使いものになりませんでした。そこで 15240kc にダイアルを廻すほか無いことになるわけです。この方は SINPO の S で 4 はあり，普通ならゆっくりプログラムを楽しめる筈なのです。ところが，15250kc の VOA マニラのカントン語プログラムを妨害する中共³からのジャミングは，目的の波から 10kc も外れた 15240kc 附近に中心が来ており，このためラジオ・スウェーデンは SINPO コードでいえば 41431 と，全く実用になりませんでした。

現在，東亜地域でジャミングを出しているのはソビエトと中共です。中共のジャミングはソビエトと音色がかなり違っており，また途中に電信の符号(いわゆるコールサイン)が入らないこと，しばしば目的の周波数から離れた(特に下側)飛んでもない放送の上に出て来るのが特徴です。

一方，組織的に防害されている放送は，沖縄から出ている模様のロシア語の地下局(バイカル放送，闘争放送その他)自由中国の声その他の台湾の放送局の中国語番組，自由中国の声の送信機を使っているアメリカ系のロシア語宣伝放送 R. Liberation, VUNC(会誌 2 月号参照)。JOAB, JOBB の送信機その他を使って日本と韓国から出ている)の中国語その他などが挙げられます。

ヨーロッパ方面では，R. Free Europe(自由欧洲放送，送信所は西ドイツとポルトガルにあるアメリカ系の東欧向宣伝放送)西ドイツから出ている R. Liberation, それに VOA の東欧向放送などが組織的に妨害を受けており，一方，ジャミングを出しているという信すべき情報があり，その後これを中止したことが確認できない国として，ソビエト，ブルガリア，チェコスロバキア，東ドイツ，ハンガリー，ルーマニア，それにイギリスがあります。

そのころから会員だった方は昭和 31 年 4 月と 6 月の会誌をもう一度見て頂きましょう。(以下要約「ジャミングを中止せよ」)

この運動は，会員諸兄はもちろんのこと，短波放送に興味を持っているすべての人々の協力を得て，ますます全国的，否，世界的な運動にまで，盛立てて行かなければなりません。

過去 10 年というものの，我々 SWL はジャミングの猛威に対して，唯々忍耐を続けて来ました。しかし，このままに推移するならば，遠からず短波放送自体の生命を失うに立至るだろうということは，不幸にして想像するに難くありません。

JSWC は，短波放送に興味を持っているすべての人に，ジャミングを出している国の放送ならびに政府に対し，どしどし「ジャミングを中止せよ」の抗議の手紙を書くことを提案します。更に，ジャミングが如何に害毒を流しているか，放送同士の出力増大の競争が如何に無意味であり，かつ放送自体ならびにその聴取を害うものであるか，を。そしてまた，ジャミングはむしろ自国の国民の注意を喚起するに過ぎないだろうということ。ジャミングが増えれば増えるほど，短波の聴取者は減り，それらの国の「海外放送」も遂には不必要になるだろうということ，ジャミングの代りに音楽でも放送すれば，それらの国の放送のリスナーも激増するだろうということ等々を。これこそ，我々のジャミング反対運動の第一歩として，最良の手段であると信じます。

JSWC は，ジャミングを出している国々に対して，なんら差別を設けません。JSWC は，一切の政治・宗教から無関係です。

¹ 1958 年

² 日本短波クラブの英文による会報。会員からの受信報告と各放送局のスケジュールが掲載されている。毎月発行

³ 中国のこと。当時は共産中国の意味で「中共」と呼ばれていた

他方，組織的にジャミングをもって妨害されている放送局に対しては，より「平和的な」プログラムを放送することをお願いしたいものです。

ジャミングのカーテンを通して，目的とする国々へ電波を届かせることだけをいえば，これはむしろ易しいことでしょう。より強大な出力を用い，一度に多くのバンドで多数のチャンネルを使用する，しかも頻繁に周波数を換える等々……。しかし，あえてこれらの手段を取るにしても，ジャミング・カーテンの彼方へ 100 パーセント放送を届かし得た時には，短波放送およびその聴取なるものは全くその価値を失っているでしょう。上記の諸手段もまた，われわれ SWL にとって最も好ましくないものなのです。現在の放送における力対力の競争は，必然的にジャミングの増加をもたらし，短波放送聴取の範囲を狭めています。

けっして我々はジャミングの味方をしようと考えるわけではありません。世界各国の放送を，もっともっと楽しく，かつ容易に楽しむことができるよう，唯それだけが念願とするところです。

昭和 31 年 5 月より始った R. Japan のロシア語放送は，ほとんどジャミングを受けておりません。これは我々に小さな，しかし明るい光を感じさせるものです。会員たると非会員たるとを問わず，短波放送に興味を持っておられるすべての方々のこの運動に対する御協力を切にお願いします。

「ジャミングを中止せよ」

それから満 2 年が経過しています。そして，現実には，その当時は十分確認できない程度のジャミングしか出していなかった中共が，いまやソビエトと並んで強力なジャミングを出しているのです。

皆さん! こうした事実をどうお考えになりますか?

とにかく，われわれと同じ会員である (004)Arne Skoog 氏をエディターとする世界でも一流中の一流の DX プログラム Sweden Calling DXers の 10 周年記念番組は，まったく聞くことができませんでした。

私はここに，会員すべての皆さん，そして全世界の短波愛好のすべての人々と共に，希望し，また期待したい。5 年後。10 年後に，再び R. Sweden から放送されるであろう Sweden Calling DXere の 15 周年，20 周年の記念プログラムが，ジャミングはいうまでもなく，如何なる混信も受けることなしに，明朗に受信できることを!(Co-Operating Staff の 1 人として 304 小林良夫)

(『日本短波クラブ会誌国内版』第 5 卷第 6 号，1958 年 3 月号。脚注は PDF 化するに当り付け加えた)